

## 2-7-2. 生物生息分布

### ①鎌北湖地域（図 2-7-2①）

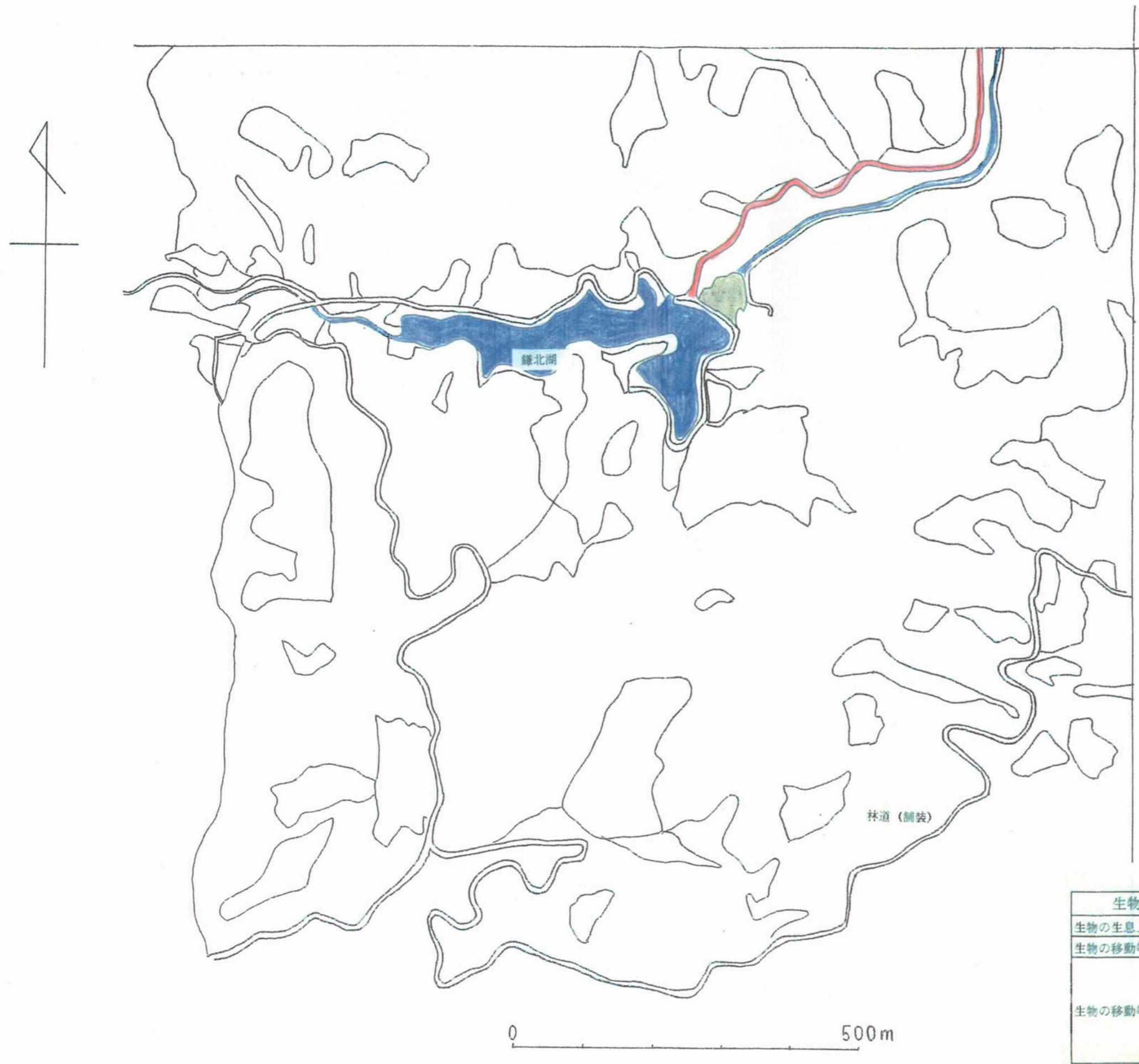
生物の移動等を阻害する要素は、鎌北湖東部の河川堤防および鎌北湖北東方面にのびる道路のみであり、人為的インパクトによる生物の生息空間への影響は比較的少なかつた。生物の生息上重要な地域および生物の移動等を促進する要素は、鎌北湖から北東へと流れ出る河川および鎌北湖であった。鎌北湖は猛禽類等の狩り場となる可能性があり、北東へと続く河川は、中・大型哺乳類の水飲み場として利用される可能性がある。

### ②西大久保地域（図 2-7-2②）

生物の移動等を阻害する要素は、国道 39 号、国道 114 号などの幹線道路および越辺川周辺の河川の護岸であった。特に国道 39 号は調査地域を北東から南西へと区切り、調査地域を大きく 2 つに区分していたため、人為的インパクトによる生物の生息空間への影響は大きかったと考えられる。

一方生物の生息上重要な地域および生物の移動等を促進する要素としては、越辺川が挙げられる。





生物生息空間分布図凡例（鎌北湖地区）		色
生物の生息上重要な地域	河川、湖沼	青
生物の移動等を促進する要素	道路（復員5.5m以上、舗装）	赤
	道路（復員5.5m以上、未舗装）	オレンジ
	鉄道	黒
	堤防	灰色
生物の移動等を阻害する要素	河川の護岸など	茶色

図2-7-2① 生物生息空間分布図（第2回・埼玉県 鎌北湖重点モニタリング地域）

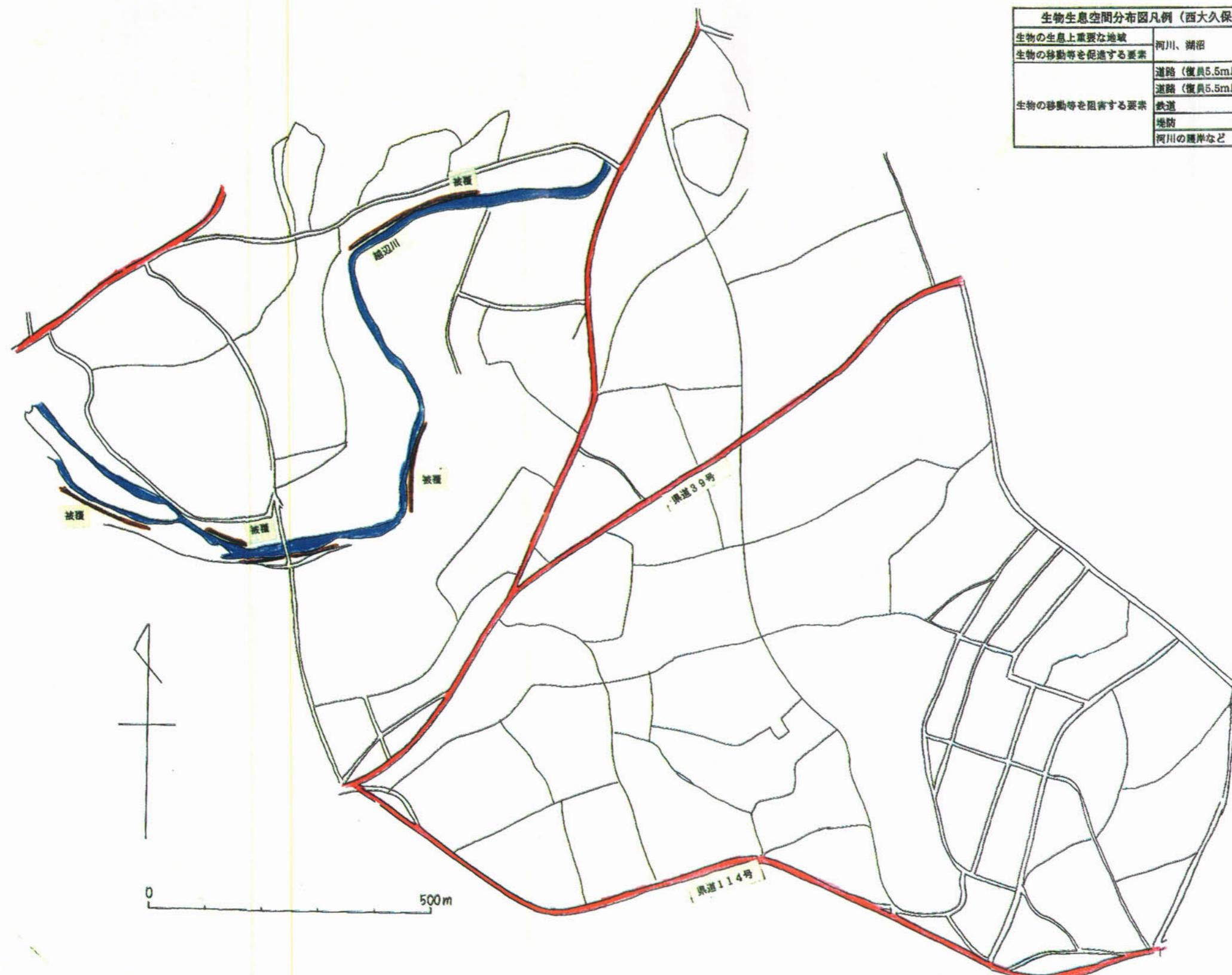


図 2-7-2 ② 生物生息空間分布図（第2回・埼玉県 西大久保重点モニタリング地域）